

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その1) (単位:千円)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街						
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備						
施策の基本方針	都市の持続的な発展を目指し、市民・企業・行政が一体となって、都心の魅力と活力を高めるために実効性のあるまちづくりを進めるとともに、市民の日常生活を支える地域の拠点を再整備し、道都にふさわしい風格のある街並みとにぎわいを創出します。また、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図り、人と環境を重視した快適で美しい街の実現を図ります。							
計 画 事 業 の 実 施 状 況								
施策番号	事業名	計 画 事 業 費	実 績 事 業 費					進 捗 率 (%)
			19年度 (決算)	20年度 (決算)	21年度 (予算)	22年度 (予算)	合 計	
1	都心まちづくり戦略の策定及び推進	10,000	13	5,962	5,000		10,975	109.8
1	創世交流拠点整備事業(創世1.1.1区再開発事業)	57,000	18,271	18,332	11,410		48,013	84.2
1	(仮称)市民交流複合施設整備事業	50,000	30,451	9,623	6,000		46,074	92.1
1	北海道新幹線推進事業	50,000	9,384	12,552	15,000		36,936	73.9
1	札幌駅交流拠点再整備構想策定事業	22,000	2,835	7,560	10,000		20,395	92.7
1	大通交流拠点再整備構想検討事業	10,000	0	2,993	0		2,993	29.9
1	都心再生協働事業	74,000	17,086	16,654	17,479		51,219	69.2
1	都心交通環境改善事業	70,000	13,384	13,710	0		27,094	38.7
1	札幌駅前通地下歩行空間整備事業	14,126,000	2,055,387	3,013,801	2,257,000		7,326,188	51.9
1	札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討	180,000	9,931	5,633	3,000		18,564	10.3
1	創成川通アンダーパス連続化事業	10,436,000	4,684,000	4,557,291	1,408,000		10,649,291	102
1	創成川通親水緑地整備事業[再掲]	2,100,000	0	322,000	696,000		1,018,000	48.5
1	創成川アートワーク事業[再掲]	58,000	5,362	4,704	3,400		13,466	23.2
2	丘珠空港周辺のまちづくり事業[再掲]	4,681,000	1,805,194	1,112,362	986,000		3,903,556	83.4
2	市民との協働による都市計画制度の普及	12,000	2,748	1,605	3,000		7,353	61.3
2	地域特性に応じた土地利用の再構築事業	50,000	6,593	10,304	10,000		26,897	53.8
2	苗穂駅周辺のまちづくり事業	14,000	6,825	11,676	5,664		24,165	172.6
2	景観計画推進事業	16,000	3,782	2,813	4,000		10,595	66.2
2	都市景観重要建築物等の保全事業	30,000	4,221	8,960	5,000		18,181	60.6
2	乗継施設等整備推進事業	27,000	13,147	2,285	1,300		16,732	62
2	自転車利用適正化対策事業	30,000	6,557	5,294	7,000		18,851	62.8
2	民間再開発による地域まちづくりへの支援事業	2,605,000	414,560	312,717	74,000		801,277	30.8
2	“ひかりの”元気の杜推進事業	1,477,000	14,000	399,000	149,000		562,000	38.1
2	図書館サービス網の拡充	35,000	32,195	0	0		32,195	92
2	やすらぎ歩行空間プランの策定	8,000	0	0	2,700		2,700	33.8
3	将来交通体系の検討	296,000	102,000	87,000	38,000		227,000	76.7
3	路面電車活用方針検討調査	67,000	20,913	28,238	18,000		67,151	100.2
3	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入		0	0	0		0	-
3	バス交通維持対策事業	29,000	10,160	5,901	13,000		29,061	100.2
3	交通バリアフリー推進事業[再掲]	160,000	18,237	77,157	91,600		186,994	116.9
3	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)	4,524,000	1,509,000	640,635	842,000		2,991,635	66.1
3	地下鉄ICカードシステムの導入	3,271,000	1,168,789	1,406,016	305,890		2,880,695	88.1
3	交通ICカードの導入と活用	5,000	0	0	5,000		5,000	100
	(以下余白)							
合 計 (計画事業費が「-」の事業は除く)		44,580,000	11,985,025	12,102,778	6,993,443		31,081,246	69.7

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	都心まちづくり戦略の策定	検討	検討	基本的方向性とりまとめ	策定		策定 (19年度)
1	都心まちづくり戦略会議の設置	検討	検討	設置			設置 (19年度)
1	創世1.1.1区街づくり指針の策定	検討	検討	検討	策定		策定 (19年度)
1	北1西1・大通東1再開発基本計画の策定	検討	策定				策定 (19年度)
1	〔(仮称)市民交流複合施設整備〕施設基本計画の策定	検討	検討	策定			策定 (20年度)
1	〔(仮称)市民交流複合施設整備〕施設実施方針の策定	-	-	検討・策定			策定 (20年度)
1	〔北海道新幹線推進〕札幌延伸の早期事業化の推進	-	推進	推進	推進	推進	推進
1	札幌駅交流拠点再整備構想の策定	-	検討	検討	検討	策定	策定
1	サッポロ広場形成計画の策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定
1	新中心市街地活性化基本計画の策定	検討	検討	素案策定	策定		策定 (20年度)
1	大通・駅前通地区まちづくり計画の策定	-	-	-	-	検討	検討
1	創世1.1.1区・札幌駅前周辺地区交通環境改善計画の策定	-	検討	検討	検討	検討	事業化調整
1	地下歩行空間(地下歩道)の整備	工事中	工事中	工事中	工事中	供用開始	供用開始
1	〔札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討〕関連条例の制定	検討	検討	検討	制定		制定 (21年度)
1	〔札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討〕「にぎわい」がある空間の創出	検討	検討	検討	検討	供用準備完了	供用準備完了
1	〔創成川通〕アンダーパス連続化	工事中	工事中	供用開始			供用開始 (20年度)
1	創成川通地上道路部分整備	工事中	工事中	工事中	工事中	完成	完成
1	都心部における水とみどりの空間	-	-	工事中	工事中	1.9ha	1.9ha
1	〔創成川アートワーク〕アートワークの設置	-	設置作品の検討	設置作品の検討	設置作品の決定	設置	設置
2	〔丘珠空港周辺のまちづくり〕緑地整備の推進	4.1ha	4.1ha	4.1ha	4.1ha	10ha	10ha
2	「まち本」等活用講座受講者数	127人	500人	896人	500人	500人	500人
2	地区計画の決定、変更数	-	-	-	-	3地区	3地区
2	地域まちなみづくり推進制度の策定	検討	検討	検討	策定	運用	策定 (21年度)
2	〔苗穂駅周辺のまちづくり〕まちづくり推進プログラムの策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定
2	景観計画重点区域の指定及び既指定地区の基準等見直し	-	協議	協議	協議	指定	3地区
2	地域における景観まちづくりの展開	-	協議	協議	協議	協議	1地区
2	景観保全型広告整備地区の指定(大通地区)	協議	協議	協議	協議	協議	指定 (20年度)
2	景観保全型広告整備地区の指定(札幌駅前通地区)	協議	協議	協議	協議	指定	指定
2	都市景観重要建築物等の指定件数(累計)	18件	23件	27件	29件	30件	30件
2	栄町駅周辺交通環境整備計画の策定	検討	策定				策定 (19年度)
2	乗継施設等整備基本計画の見直し	検討	-	調整	検討	策定	策定

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
2	(仮称)自転車利用総合計画の策定	調査、検討	調査、検討	調査、検討	素案策定	策定	策定 (21年度)
2	駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大	調査等	調査等	調査等	素案	条例改正	条例改正 (21年度)
2	JR篠路駅西第2地区再開発事業	-	事業着手	駅前広場 工事等	完了		完了 (21年度)
2	琴似4・2地区再開発事業	-	-	-	事業着手	住宅工事等 (24年度完了)	完了
2	〔“ひかりの”元気の杜推進〕土地活用率(地区内において宅地建設など土地の利用が図られた割合)	19%	22%	26%	28%	30%	30%
2	〔“ひかりの”元気の杜推進〕公園・緑地面積	1.4ha	1.4ha	2.4ha	6.3ha	6.3ha	10.0ha
2	ネットワークへの組み入れ箇所数	38カ所	39カ所	40カ所	41カ所	未定	41カ所 (21年度)
2	やすらぎ歩行空間プランの策定	-	-	検討	検討	策定	策定
3	交通体系マスタープラン(MP)策定	調査、検討	調査、検討	MP素案検討	MP策定		MP策定 (20年度)
3	〔路面電車活用方針検討調査〕基本計画(案)の策定	検討	調査、検討	調査、検討	策定		策定 (21年度)
3	〔路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入〕低床車両の数	-	-	-	-	1両	1両
3	バス交通のあり方設定	検討	検討	検討	設定		設定 (21年度)
3	バス利用環境改善方策策定	検討	検討	策定			策定 (20年度)
3	利用者5,000人/日以上の子JR駅バリアフリー化(累計)	9駅	9駅	10駅	12駅	13駅	12駅
3	ノンステップバスの導入台数(累計)	51台	57台	63台	69台	75台	75台
3	JR白石駅自由通路の整備	-	-	-	工事中	供用開始	供用開始
3	地下鉄へのICカードの導入	-	-	導入			導入 (20年度)
3	〔交通ICカードの導入と活用〕ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討	-	-	-	検討		検討 (21年度)

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備
主 な 取 組 内 容		
施策1 都心のまちづくり		
19年度(実績)		20年度(実績)
<p>都心まちづくり戦略の策定に向けた検討 創世1.1.1区再開発基本計画の策定 市民交流複合施設基本計画策定に向けた検討等 北海道新幹線の札幌延伸の実現に向けた市民への情報発信、中央要望等 札幌駅交流拠点再整備構想の策定に向けた検討 サッポロ広場形成計画の策定に向けた検討 大通、駅前通、すすきの、創成以東地区エリアマネジメント促進支援及び新中心市街地活性化基本計画の策定に向けた検討 都心の交通環境改善に向けたタクシー・荷さばき・観光バス対策推進調査、都心交通モニタリング調査等の実施 札幌駅前通地下歩行空間本体工事等の実施 札幌駅前通公共地下歩道の空間活用基本計画の策定 創成川通アンダーパス連続化に係る本体土木工事、設備工事等の実施 創成川通親水緑地空間へのアートワーク設置に向けた基本計画の検討</p>		<p>都心まちづくり戦略の策定に向けた検討 創世1.1.1区北1西1街区再開発推進計画の策定、西2丁目線地下通路施設の調査検討 市民交流複合施設基本計画、市民交流複合施設実施方針の策定、市民交流複合施設創造活動センターに係る基礎調査 北海道新幹線の札幌延伸の実現に向けた市民への情報発信、中央要望、まちづくり検討 札幌駅交流拠点再整備構想の策定に向けた調査・検討 サッポロ広場形成計画の策定に向けた検討 大通、駅前通、すすきの、創成以東地区エリアマネジメント促進支援及び新中心市街地活性化基本計画素案の策定 さっぽろ都心交通計画の課題・方向性の整理、札幌駅周辺の交通環境改善対策の検討等 札幌駅前通地下歩行空間本体工事等の実施 札幌駅前通公共地下歩道の広場整備計画の策定 創成川通アンダーパス連続化に係る本体土木工事、設備工事等の実施 創成川通親水緑地空間等の実施設計、護岸、導水管設置工事 創成川通親水緑地空間へのアートワーク設置に向けた基本計画の策定及び作品内容の検討</p>
21年度(予定)		22年度(予定)
<p>都心まちづくり戦略の策定 創世1.1.1区北1西1街区再開発準備組合負担金措置、西2丁目線地下通路施設詳細計画等 創造活動センター検討、市民交流複合施設ホール等検討 北海道新幹線の札幌延伸の実現に向けた市民への情報発信、中央要望、まちづくり検討 札幌駅交流拠点再整備構想の策定に向けた調査・構想案策定委員会の設置・運営 サッポロ広場形成計画の策定に向けた具体的な整備内容・手法等の検討 大通、駅前通、すすきの、創成以東地区エリアマネジメント促進支援及び新中心市街地活性化基本計画検討 事業者、関係機関等との連携・協調による都心交通環境改善に向けた検討 札幌駅前通地下歩行空間本体工事等の実施 札幌駅前通公共地下歩道の広場に関する条例の制定 創成川通アンダーパス連続化に係る地上部道路整備の実施 創成川通親水緑地空間等の公園造成、護岸・創成橋復元工事等 創成川通親水緑地空間へのアートワーク基本計画の策定及び作品内容の概要の確定</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備
主 な 取 組 内 容		
施策2 快適で魅力的な地域への再構築		
19年度(実績)		20年度(実績)
<p>丘珠空港緑地の整備(用地取得、施設整備) 「まち本(まちづくりに役立つ都市計画の本)」の活用などによる都市計画制度等の普及 土地利用上の課題を有する地区における土地利用ルールのあり方や土地の利用転換の検討 苗穂駅周辺まちづくり計画に基づく調整 景観計画重点区域の新規候補地区・既指定地区の見直し等の検討、景観保全型広告整備地区の検討 景観重要建造物等の指定及び保全助成、歴史的建造物等を生かした景観ガイドライン策定に向けた調査研究 栄町駅周辺交通環境整備計画の策定等 仮称)自転車利用総合計画策定に向けた調査、検討 JR篠路駅西第2地区の再開発事業への支援及び都市計画道路、駅前広場の整備 東雁来第2地区において地区公園の実施設計 図書館ネットワークへの組み入れに向けた篠路コミュニケーションセンター図書データのデータ化、図書館端末の設置及びインターネット予約システムの整備等</p>		<p>丘珠空港緑地の整備(用地取得、施設整備) 「まち本(まちづくりに役立つ都市計画の本)」の活用などによる都市計画制度等の普及 土地利用上の課題を有する地区における土地利用ルールのあり方や土地の利用転換の検討等 苗穂駅周辺まちづくり計画に基づく協議・調整等 景観計画重点区域の新規候補地区・既指定地区の見直しに向けた検討・調査、景観保全型広告整備地区の検討・調査 景観重要建造物等の指定及び保全助成、歴史的建造物等を生かした景観ガイドラインの策定に向けた検討等 栄町駅周辺駐輪場整備の検討・確保、苗穂駅前広場等の都市計画決定に向けた協議 仮称)自転車利用総合計画策定に向けた「自転車利用のあり方検討会議」を設立 JR篠路駅西第2地区の再開発事業への支援及び都市計画道路、駅前広場の整備 東雁来第2地区において地区公園の整備 図書のインターネット予約開始 やすらぎ歩行空間プラン検討会設立準備会の開催等</p>
21年度(予定)		22年度(予定)
<p>丘珠空港緑地の整備(用地取得、施設整備) 「まち本(まちづくりに役立つ都市計画の本)」の活用などによる都市計画制度等の普及 土地利用上の課題を有する地区における実態解析調査実施、地区計画の見直し実施等 苗穂駅周辺まちづくり計画に基づく協議・調整、まちづくりの推進プログラム策定に向けた検討 景観計画重点区域の新規地区の指定・既指定地区の基準見直しに向けた協議、景観保全型広告整備地区の指定に向けた協議 景観重要建造物等の指定及び保全助成、歴史的建造物等を生かした景観ガイドラインの策定・周知等 栄町駅周辺駐輪場整備の検討・確保、苗穂駅前広場等の都市計画決定等 仮称)自転車利用総合計画素案策定 JR篠路駅西第2地区の再開発事業への支援及び都市計画道路、駅前広場の整備 東雁来第2地区において地区公園の整備 生涯学習センター「ちえりあ」への図書館のサービスポイント設置等、生涯学習センターとの連携の強化 やすらぎ歩行空間プラン検討会開催</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その7)

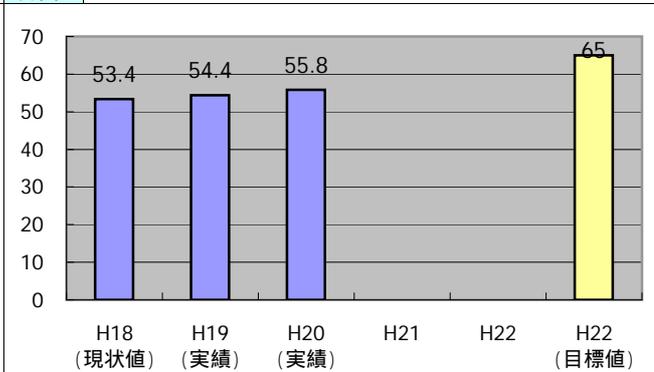
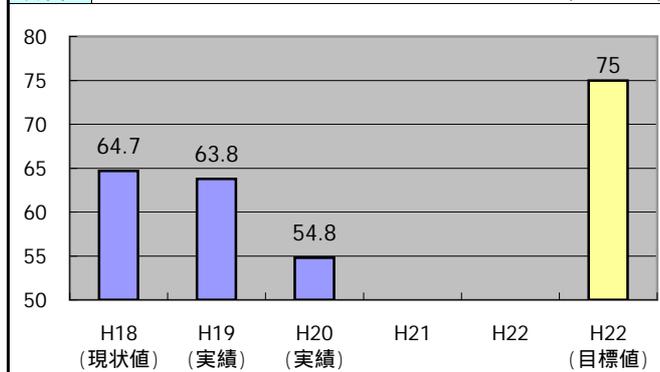
政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備
評価(成果)		課題
施策1 都心のまちづくり 「都心まちづくり戦略」の策定に向け、都心まちづくり戦略会議において、都心の目指すべき将来像等、今後のまちづくりの基本的な方向性の検討を進めた。また、創世1.1.1区北1西1街区再開発推進計画、市民交流複合施設基本計画等の策定を行うとともに、駅前通公共地下歩行空間、創成川通アンダーパス連続化の工事実施、札幌駅前公共地下歩道の広場整備計画の策定、創成川通親水緑地の活用スキームについての検討等を進めた。 さらに、都心内各地域において地域の管理を地域が主体的に行う取り組み(エアーマネジメント)への支援等、市民・企業との協働によるまちづくりを進めている。		
施策2 快適で魅力的な地域への再構築 「JR篠路駅西第2地区」再開発事業や「苗穂駅周辺まちづくり」への支援・調整等、市民・企業等との協働により拠点の再整備に向けた取り組みを進めるとともに、多様な住まい方支える質の高い居住環境を実現していくため、開発時期の古い郊外住宅地の土地利用ルールのあり方や土地の利用転換を検討するなど、それぞれの地域の課題や特性に応じた都市づくりを進めている。また、歴史的な建造物等を生かした景観ガイドラインの策定に向けた検討を行うなど札幌の自然、歴史や文化を大切にしたい美しい都市景観づくりを進めている。		
施策3 公共交通機関の利便性向上 現在の少子高齢化などの社会情勢を考慮した都市交通マスタープラン素案の検討や路面電車の基本計画(案)策定に向けた調査・検討を実施し、将来のまちづくりの方向性を踏まえた交通体系のあり方についての検討を進めている。また、JR駅のバリアフリー化の推進や、ICカード「SAPICA(サピカ)」の導入など、公共交通機関の利便性向上を図る取り組みを進めた。		
今後の重点取組 国立社会保障・人口問題研究所の推計のとおり人口減少期が目前となり、かつ人口構造が少子高齢化へ大きく変容していくことがほぼ確実である状況の中で、都市としての魅力と市民生活の場としての利便性を高めるため、都市構造を強化していくことが重要となっている。 このような中、都心では、これまでのまちづくりの取り組みや、札幌駅前通地下歩行空間整備や創成川通アンダーパス連続化事業などの大規模公共施設整備によって、都心における民間の都市開発意欲は高まりを見せつつある。これらの社会経済動向を踏まえ、札幌市が考えるまちづくりの方向性を「都心まちづくり戦略」として明示し、市民・企業・行政で議論・意見交換を行うことにより、共通の認識を持ち、都心のまちづくりに取り組んでいくことで、将来を見据えた一体的・効率的なまちづくりが推進される。 また、都心のまちづくりのより一層の推進を図るために、地元事業者や商業者が都市づくりに参画し、民間投資を積極的に行いうる環境と体制を早期に構築することが必要である。 地域については市民の日常生活を支える機能を集積し、誰もが安心し、快適に過ごせるような土地利用ルールのあり方を検討する。 公共交通については、より一層快適で利用しやすい環境を創出するために、マスタープラン策定にあたっては、これまで以上に公共交通事業者相互の連携や市民との協働の取り組みが必要となる。 さらに、(仮)「コンパクトシティ実現化プログラム」の策定に取組み、今後のまちづくりの基軸の明確化とその実現のための施策の体系化を図る。		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その8)

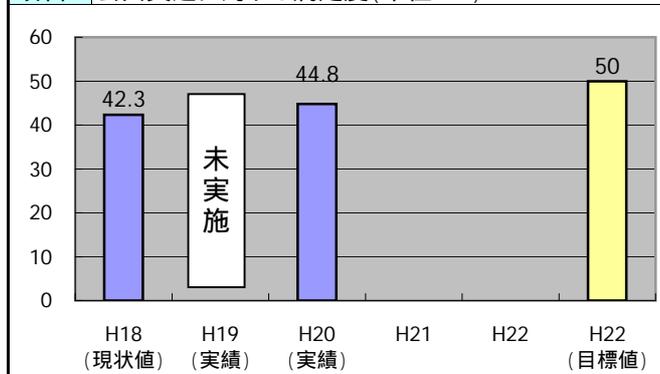
政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備

成果指標等の動向

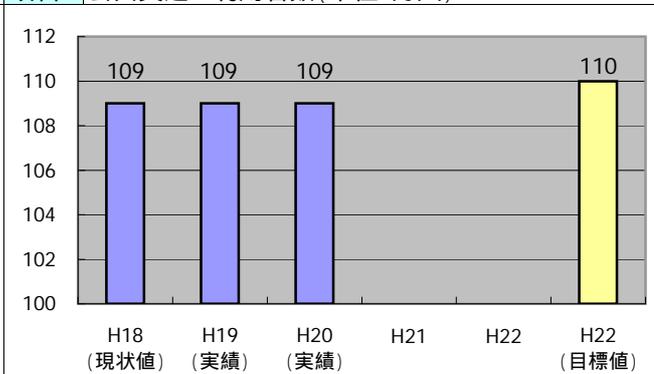
項目1	札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合(単位:%)	項目2	住んでいる地域の住環境(街並み)に満足している人の割合(単位:%)
-----	-------------------------------	-----	-----------------------------------



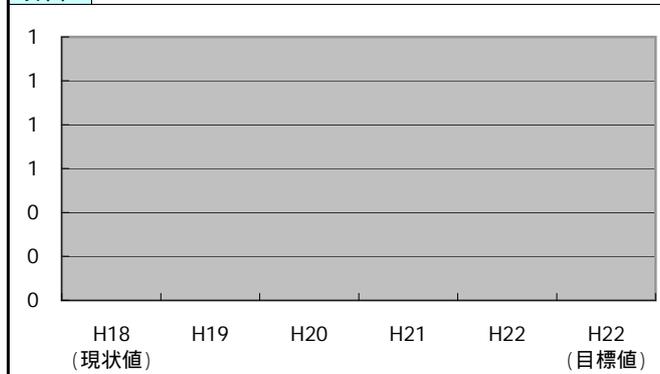
項目3	公共交通に対する満足度(単位:%)
-----	-------------------



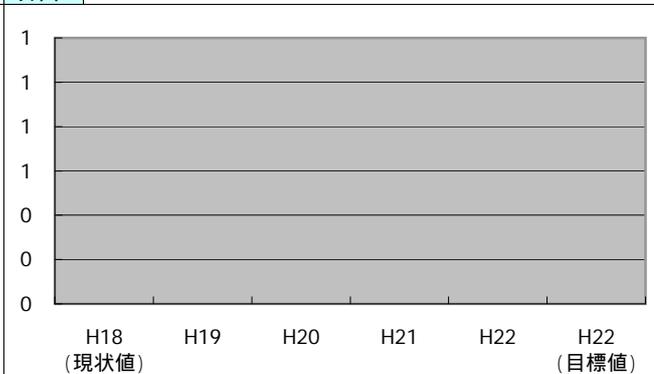
項目4	公共交通の利用者数(単位:万人)
-----	------------------



項目5	
-----	--



項目6	
-----	--



成果指標等から見た重点課題の評価

「札幌の都心に『にぎわい』があると感じる人の割合」は、平成18年度の実績を下回っているが、今後、駅前通地下歩行空間、創成川通ア
ンダーパス連続化工事などが完成し、親水緑地空間などが整備される平成22年度には、割合の上昇が期待できる。

「住んでいる地域の住環境(街並み)に満足している人の割合」は、若干の上昇をしている。本指標は、市民の日常生活を支える多様な機
能の向上や、魅力的な景観形成などにより増していくものと考えられるが、今日の都市づくりでは、多様化するニーズやまちの課題に対応し
ていくために、各地域の課題や特性に応じたきめ細かなまちづくりを市民との協働により時間をかけて進めていく必要があることから、目標値
の達成に向け引き続き現在の取り組みを実施していく。

「公共交通に対する満足度」は、平成18年度実績よりも上昇している。これは、JR駅のバリアフリー化、ノンステップバス導入補助、JR・地下
鉄におけるICカード(Kitaca、SAPICA)導入等の各種施策が、利用者の満足度上昇につながったものと推測される。

「公共交通の利用者数」は、平成19年度実績と同じ数値となっている。これは、公共交通の利用需要増となる大きな外部要因がない中で、
利便性向上を図る各種施策の展開により維持しているものであり、目標値の達成に向け引き続き現在の取り組みを実施していく。